

百尺竿頭

ひやく しゃく かん とう

札幌市青少年山の家だより

第44号

平成26年(2014年)3月1日発行



「どの子にも豊かな自然体験を！！」

札幌市青少年山の家

野外教育主幹 金田 隆史

子どもたちに豊かな自然体験をさせたいと、札幌市の教員が林間学校を始めたのが今からちょうど37年前でした。かつて子どもは風の子でありました。寒かろうと暑かろうと時間さえあれば、仲間を作って遊び回る。それが、子どものものである本来の姿でした。そうした集団遊びの中で子どもたちは、心身ともに大人になるための準備、生きるための力を獲得していたのではないのでしょうか。それが、緑豊かな自然の中であれば、もっと心を躍らせていたにちがいません。



しかし、生活環境の変化、空き地や原っぱの消失、交通地獄、進学競争、塾やおけいごとブームなどによって遊ばない子、遊べない子が増え、子ども世界はどんどん小さく縮んできてしまったように思います。

何はともあれ、子ども時代をなくし、息を詰めるようにして生活している子どもたちのために何かよい手立てはないものか、たとえ限られた一時期、一期間であってもいいから、子どもたちを風の子に戻してやるべきではないだろうか。最初に林間学校に関わった頃に抱いていた漠然とした思いでしたが、それから早いもので37年が過ぎてしまいました。

教育はもともと昔から生きるに必要な力を育成することにあります。必要な知識・技能習得を中心とする進級・進学のための学校教育だけになっているのではないのでしょうか。現代は自然環境を自分の都合の良いように整備し、快適な生活ができていますが、本来持っている野性的機能は衰退しているようです。

私たちの活力や創造力・忍耐力・判断力・行動力などは多くの体験によって培われるもので、実体験を通して生きるための知恵を学ぶものであり、その場を与えずして、言葉や文字、視聴覚機器などで生活文化を習得させることは至難の業であるといえます。



自然の厳しさに負けず、輝く笑顔のあふれる子供たち、未来に生きる子どもたちの成長を願って実りある自然体験活動をおこなうために、いつまでたっても30年前のプログラムと同じではなく、今の子どもたちの感性に合うように新しいプログラムを開発しなければなりません。特に、中・高校生をひきつけるプログラムが少なく、中学校へ行くと自然離れが激しくなっています。思いっきり楽しめるプログラムがあれば、中・高校生も夢中になるはずで、何かにトライして、自分たちの手で完成させる、そういった本気で取り組めるプログラムを開発する必要があると考えています。

今後の札幌市青少年山の家での活動に期待していただけるよう、さらに次年度質の高いプログラムを提供していけたらと考えています。

利用者アンケートより

○前日から当日まで、提出書類の不備や記載についてしっかり対応してくださりました。

⇒事前に提出していただく書類につきまして、情報量が多く、記載内容も難しいため皆様にはお手数をおかけしております。しかし、青少年山の家を利用していただくにあたり、全て必要な情報となりますので、ご協力をお願いいたします。

記載方法等でご不明な点がございましたら、お気軽に青少年山の家までご連絡をいただけますようお願いいたします。

自然の 豆知識

「大気光学現象」

とある朝、心と外を見てみると、東の空では太陽が昇り始めていました。

北東側の空には低い雲がかかっていたのですが、朝日に照らされて少しずつ明るさを増していき、雲の一部に太陽光が反射して虹色になっていました。最初は「彩雲（さいうん）」かと思いましたが、調べてみると「幻日（げんじつ）」と呼ばれる現象でした。

この「幻日」ですが、雲の中の氷の結晶が太陽の光を反射・屈折することで起こる大気光学現象のひとつで、まるで雲の一部に虹がかかっているように見えるのが特徴です。また、月の光によって同じ現象を起こすことがあります。その場合は「幻月（げんげつ）」と呼ばれるそうです。

対して「彩雲」は太陽の近くを通りかかった雲に含まれる水滴が太陽の光を回折することで、雲が赤や緑に彩られるのが特徴です。

その他、雨上がりなどに見ることのできる「虹」、逆さ虹とも呼ばれる「環天頂（かんでんちょう）アーク」など数種類あり、「朝焼け」や「夕焼け」、「蜃気楼」も大気光学現象の仲間です。

皆さんも空を見上げて、大気や水滴たちが織りなす鮮やかな景色を探してみませんか？



幻日 (H26.2.7 撮影)



彩雲 (H25.7.22 撮影)



夕焼け (H24.10.6 撮影)

参考：「Wikipedia：大気光学現象」

発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）
電話 (011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>